

|        |                      |     |   |         |                 |
|--------|----------------------|-----|---|---------|-----------------|
| 教科(科目) | 工業 (デザイン実践)          | 単位数 | 3 | 学年(コース) | 2 学年(産業デザインコース) |
| 使用教科書  | 実教出版株式会社 『 デザイン実践 』  |     |   |         |                 |
| 副教材等   | 文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級編 |     |   |         |                 |

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

|  |
|--|
| ○グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)  |
| ～卒業までにこのような資質・能力を育みます～<br>①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。<br>②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。<br>③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。   |
| ○カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)   |
| ～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～<br>①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。<br>②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。<br>③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。 |

### 2 学習目標

|   |
|---|
| 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を育成することを目指す。<br>(1)デザインについて社会との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。<br>(2)デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。<br>(3)デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |
|---|

### 3 指導の重点

|  |
|--|
| デザインの基礎の分野に重点を置き、自らの目を通して的確な情報を集めることを学ぶ。また、造形上の美的原理を理解し、デザインを行う上で必要な色彩の知識を修得した上で、ビジュアル (視覚)、プロダクト (生産) の各専門分野の内容が理解できるよう効果的な指導を展開する。 |
|--|

### 4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| ・安全・安心で快適な生活環境を構築し改善するために、デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、ものづくりにおける様々な状況に対応できる技術を身に付けている。 | ・機能そのものを表現する技術に着目して、デザインにより解決できる課題を見だし、単に表面的なデザイン性だけを優先するのではなく、デザインが社会や生活に与える影響に対して責任をもち、科学的な根拠に基づき構想を立て解決しようとしている。 | ・デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指し、人々が求めているものや社会の動向の情報を基にした機能を製品化する方法について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

## 5 評価規準と評価方法

|      |   |   |   |
|------|---|---|---|
|      | 評価は次の観点から行います。  |   |   |
|      | 知識・技能 a   | 思考・判断・表現 b  | 主体的に学習に取り組む態度 c   |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、<br>・ペーパーテストの分析<br>・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認<br>などから、評価します。                          | 以上の観点を踏まえ、<br>・授業中の発言、発表や討論への取組の観察<br>・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認<br>などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、<br>・授業中の発言、発表や討論への取組の観察<br>・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認<br>などから、評価します。 |
|      | 内容のまとめりごとに、各観点<br>「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」<br>で評価します。<br>内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。 |   |   |

## 6 学習計画

| 月            | 単元名                      | 授業時数と領域          | 教材名        | 学習活動(指導内容)   | 時間 | 評価方法   |
|--------------|--------------------------|------------------|------------|--|----|--|
| 4<br>5       | デザインを行う上で必要な色彩について理解しよう。 | 11<br>デザインと創造活動  | 色のはたらき     | ・さまざまな色のはたらきや役割について学ぶ。<br>Lesson1 色とは  | 2  | ワークシート<br>(記述点検)<br>出席状況<br>授業態度<br>課題提出状況<br>3級過去問題<br>中間考查得点 |
|              |                          |                  | 光と色        | ・光の基本的な性質や眼のしくみを学ぶ。<br>Lesson2 眼のしくみ Lesson3 混色  | 4  |  |
|              |                          |                  | 色の表示       | ・色を分類したり、数字で表したりするときの基本となる考え方を学習する。<br>Lesson4 色の三属性 Lesson5 PCCS                        | 5  |  |
|              |                          |                  | 定期考查       | 1学期中間考查  | 1  |  |
| 6<br>7       | デザインを行う上で必要な色彩について理解しよう。 | 19<br>デザインと創造活動  | 色彩心理       | ・色のはたらき、色彩心理について学習する。<br>・色の視覚効果(対比・同化)について学ぶ。   | 4  | ワークシート<br>(記述点検)<br>出席状況<br>授業態度<br>3級過去問題<br>検定受検<br>期末考查得点   |
|              |                          |                  | 色彩調和       | ・配色のルールを理解し、それぞれの配色の効果を確認する。Lesson7 配色の基本的な考え方<br>Lesson6 配色の基本的な技法                      | 4  |  |
|              |                          |                  | 配色イメージ     | ・配色イメージについて、三属性やトーンから考えていく。  | 2  |  |
|              |                          |                  | ファッション     | ・ファッションならではの色彩の考え方、使い方があることを理解する。  | 2  |  |
|              |                          |                  | インテリア      | ・インテリアにおけるカラーコーディネーションや色の心理効果などについて学ぶ。   | 2  |  |
|              |                          |                  | 過去問題       | ・過去問題で学習成果を確認する。   | 5  |  |
| 定期考查         | 1学期期末考查                  | 1                | 32         |  |    |  |
| 8<br>9<br>10 | 工業におけるデザインについて理解しよう。     | 20<br>工業におけるデザイン | 工業製品の企画と計画 | ・デザインの企画、開発、計画、促進などの業務における発想法、デザイン方法や業務管理方法などについて学習する。                                   | 8  | ワークシート<br>(記述点検)<br>出席状況<br>授業態度<br>課題提出状況<br>中間考查得点           |
|              |                          |                  | ニーズとデザイン   | ・マーケティングの概要、市場調査、製品企画、宣伝企画などについて、具体的な事例で学ぶ。  | 6  |  |
|              |                          |                  | 組織と進行管理    | ・組織におけるデザインプロセス、協同作業などについて取り上げ、地域資源を生かしたデザインについて学習する。また、デザインに関わる知的財産の管理や運用及び意匠権などについて学ぶ。 | 6  |  |
|              |                          |                  | 定期考查       | 2学期中間考查  | 1  |  |
| 11           | デザインを構成する基本要素の視点で捉え、     | 20<br>デザインと創造活動  | デザインの概要    | ・デザインの意義と要素、創造の意義と手法などについて理解する。  | 9  | ワークシート<br>(記述点検)<br>出席状況<br>授業態度                               |
|              |                          |                  | 形態観察と表示    | ・ものの見え方、とらえ方、表示及び表現の種類と技法について学習する。   | 9  |  |

|             |  |         |              |  |    |   |
|-------------|--|---------|--------------|--|----|---|
|             | 理解しよう。   |         | 人間要素         | ・デザインと人間要素などの基礎的な内容にかかる人間工学、感性工学、造形の心理学などについて理解する。             | 2  | 期末考査得点                                      |
| 12          | 定期考査   | 2学期期末考査 |              |  | 1  | 42  |
| 1<br>2<br>3 | 表色系を理解しよう。<br>ビジュアルデザインについて、工業製品などのデザイン制作の視点で捉え、理解しよう。 | 6       | マンセル表色系      | ・JIS（日本産業規格）や工業界で広く使用されている「マンセル表色系」を学習する。                      | 6  | ワークシート<br>（記述点検）<br>出席状況<br>授業態度<br>学年末考査得点 |
|             |  | 8       | ビジュアルデザインの概要 | ・ビジュアルデザインの意義、要素、視覚伝達の機能などについて理解する。                            | 2  |   |
|             |  |         | グラフィックデザイン   | ・宣伝媒体、広告デザイン、編集デザイン、展示計画などを取り上げ、機能、目的及び手法について学習する。             | 2  |   |
|             |  |         | パッケージデザイン    | ・パッケージの種類、構造、材質及びリユースやリサイクルなどの環境への配慮などを取り上げ、機能、目的及び手法について学習する。 | 2  |   |
|             | プロダクトデザインについて、工業製品などのデザイン制作の視点で捉え、理解しよう。               | 8       | プロダクトデザインの概要 | ・プロダクトデザインの意義、要素、デザインプロセス、デザインと材料、環境への配慮などについて理解する。            | 2  |   |
|             |  |         | 生活機器のデザイン    | ・家庭用器具、レジャー、スポーツ、福祉介護関連などの生活器具のデザインについて学習する。                   | 1  |   |
|             |  |         | 産業機器のデザイン    | ・事務用機器、生産用機器、輸送用機器のデザインについて学習する。                               | 1  |   |
|             |  |         | 繊維や服飾のデザイン   | ・テキスタイルデザイン、織物、染色、服飾などについて学習する。                                | 2  |   |
|             |  |         | 工芸品のデザイン     | ・地域の工芸品のデザインについて学習する。  | 2  |   |
|             | 環境デザインについて、生活環境及び都市環境の視点で捉え、理解しよう。                     | 8       | 環境デザインの概要    | ・環境デザインの意義、要素、デザインプロセス、デザインと環境などについて理解する。                      | 2  |   |
|             |  |         | 住空間のデザイン     | ・住宅、オフィスなどの住空間を取り上げ、人の動線とその調査、平面、室内計画に関わる家具や什器の機能と条件について学習する。  | 2  |   |
|             |  |         | 公共空間のデザイン    | ・多様な人が利用する公園、広場、商業施設、美術館や博物館などを取り上げ、公共的な空間の機能や条件について学習する。      | 2  |   |
|             |  |         | 都市空間のデザイン    | ・多数の人が暮らす都市空間を取り上げ、町並みやコミュニティづくりに寄与する人ともに関わる機能、条件及び影響について扱う。   | 2  |   |
| 定期考査        | 学年末考査  |         |              | 1  | 31 |   |

計 105時間 (50分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・カラーカードを貼ってPCCSカラーダイヤルを完成させて提出します。
- ・カラーカードを使って自分で配色を作る配色演習の課題を提出します。
- ・学期ごとに授業用ワークシートの提出があります。（ノートチェック）
- ・長期休業中の課題は別途指示します。（調べ学習など）
- ・色彩検定3級を全員受検し、学習成果を確かめます。

## 8 担当者からの一言

デザインの基礎的要素である色彩の知識を中心に学習し、身近な生活に応用されている配色の理論と実際について学びます。そのうえでデザインとは何かを学びます。デザイン史やデザイン実習などとの関連性を重視しながら学習を進めます。